

# いもち病（葉いもち）情報第4号

令和3年7月16日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除室

## 7月上旬調査における葉いもちの発生量は過去10年間で最も多い！

### 1 葉いもち感染好適日の出現状況

7月2日に豊田、岡崎、蒲郡及び稲武、3日に愛西及び名古屋で感染好適日となりました。また、新城及び稲武では感染好適日が複数回観測されています（表）。

### 2 発生状況

7月上旬の巡回調査において、発生ほ場率は7.79%（平成2.62%、前年4.52%）、発病株率は0.38%（平成0.12%、前年0.26%）で、ともに過去10年間と比較して最も高い状況です。特に東三河地域で発病株率が高いほ場を確認しました。

### 3 今後の見込み

平均気温が15～25℃で葉面湿潤状態が長時間続くことにより、いもち病の発病好適条件となります。

名古屋地方气象台7月15日発表の週間天気予報によれば、向こう1週間（7月17日～7月23日）は、平成と同様に晴れの日が多い見込みです。しかし、今後の気象条件によっては発生量が増える可能性がありますので、特に発病株を確認したほ場では今後の発生状況に注意しましょう。また、葉いもちが上位葉で発生している場合は、穂いもちに移行するおそれがあるので注意しましょう。

表 B L A S T A Mによるいもち病（葉いもち）感染好適日の推定結果（7月1日～15日）

日 付	尾 張				西三河		東三河			中山間	
	愛 西	名 古 屋	大 府	南 知 多	豊 田	岡 崎	蒲 郡	伊 良 湖	豊 橋	新 城	稲 武
7/ 1	4	3	—	—	7	3	6	—	—	4	5
7/ 2	9	7	1	—	●	●	●	—	—	—	●
7/ 3	●	●	—	—	—	—	—	—	—	—	2
7/ 4	—	—	—	—	—	2	—	4	2	2	9
7/ 5	—	—	—	—	—	—	—	—	6	5	—
7/ 6	5	6	8	—	2	9	6	—	—	8	—
7/ 7	③	7	③	8	②	③	6	—	③	●	●
7/ 8	②	②	②	②	②	9	②	②	8	6	●
7/ 9	4	—	9	—	9	②	—	—	—	●	2
7/10	—	—	7	5	8	5	5	6	5	5	—
7/11	—	—	—	—	—	—	—	4	—	—	6
7/12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/13	—	—	—	—	4	—	—	—	4	②	●
7/14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
7/15	②	2	②	—	②	8	②	②	②	—	3

●：好適条件（湿潤時間が長く気温も適当で、いもち病発生の好適条件が現れた）

④：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が比較的低く、その平均気温に必要な湿潤時間より短い）

③：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が15℃～25℃の範囲外）

②：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が25℃以上）

①：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が20℃未満）

数値：湿潤時間が10時間未満の場合の湿潤時間数

—：好適条件なし（いもち病発生の好適条件が現れなかった）

？：判定不能